

講義名称	健康論Ⅱ
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	2年前期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	社会福祉学科（2）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	14204353

担当教員

氏名	所属
◎ 三輪 早苗	大学・人間社会科学部・社会福祉学科

授業概要	障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を学修します。ここでは、視覚・聴覚・言語障害、肢体不自由（運動機能障害）、高次脳機能障害、知的障害、重複障害、発達障害について学修します。
到達目標	1. 障害や障害福祉の基本理念が理解できる。 2. 障害の医学的・心理的側面と障害の基礎的理解ができる。 3. 障害がある人の生活と障害の特性に応じた支援が理解できる。

授業計画表

授業計画表		
第1回	【授業計画】	
	障害の概念	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	障害者福祉論を復習する（ノーマライゼーションや社会保障制度、ICFなど）	60
第2回	【授業計画】	
	障害者福祉の基本理念	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	障害者総合支援法を中心に、身体障害者福祉法、身体障害者障害程度等級を調べる	60
第3回	【授業計画】	
	障害の受容過程 ライフステージにおける心身や生活の特性	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	障害の受容、発達段階、ライフステージについて調べる	30
第4回	【授業計画】	
	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解① 視覚障害	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	こころとからだのしくみを復習。障害の医学的側面の基礎をまとめること	60
第5回	【授業計画】	
	障害がある人の生活と障害の特性に応じた支援① 視覚障害	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	障害のある人の生活支援についてテキストからまとめること。聴覚障害について学習する	60

第6回	【授業計画】	
	障害の医学的・心理的側面の基礎知識② 聴覚・言語障害	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	聴覚障害の支援について生活面・制度面からまとめること聴覚障害の特性について調べる	30
第7回	【授業計画】	
	障害がある人の生活と障害の特性に応じた支援② 聴覚・言語障害	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	障害の特性に応じた支援のあり方をまとめる重複障害の特性について調べる	30
第8回	【授業計画】	
	障害がある人の生活と障害の特性に応じた支援③ 重複障害	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	重複障害の生活支援についてまとめる。運動機能障害全般の特性について調べる	60
第9回	【授業計画】	
	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解④ 肢体不自由（運動機能障害）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	肢体不自由の医学的知識をまとめる。運動機能障害の特性をまとめる	60
第10回	【授業計画】	
	障害がある人の生活と障害の特性に応じた支援④ 肢体不自由（運動機能障害）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	肢体不自由の特性と支援のあり方を考えまとめる。知的障害について調べる	60
第11回	【授業計画】	
	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解⑤ 知的障害	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	知的障害の医学的知識をまとめる。知的障害に対する支援制度について調べる	60
第12回	【授業計画】	
	障害がある人の生活と障害の特性に応じた支援⑤ 知的障害	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	高次脳機能障害の特性について調べてくる。知的障害の特性に応じた支援のあり方をまとめる	60
第13回	【授業計画】	
	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解⑥ 高次脳機能障害	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	高次脳機能障害の医学的側面の知識をまとめる。発達障害について基礎的知識を調べてくる	60
第14回	【授業計画】	
	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解⑦ 発達障害	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	発達障害者支援法について調べる。発達障害の支援のあり方をまとめる	60
第15回	【授業計画】	
	障害がある人の生活と障害の特性に応じた支援⑦ 発達障害	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	発達障害のある人の特性と支援、制度の活用についてまとめる	60

履修に必要な予備知識や技能	「生理学」「こころとからだのしくみ」「生活とこころとからだ」を履修し、授業に臨んでください。
課題に対してのフィードバック	授業後に感想や質問を受け付け、回答や周知が必要なものは次回に行います。提出課題は、コメント共に次回以降に返却します。
評価方法・基準	定期試験80％ 授業への参加度・課題など20%

教科書	最新介護福祉士養成講座14「障害の理解」第2版 中央法規出版。参考書は授業内に適宜紹介します。
備考	介護福祉士養成における必須科目です。介護福祉士資格取得を目指す人は必ず受講してください。
実務経験の内容・期間	看護師（8年）